

がん感染症疾病対策課  
直 通：092-643-3597  
内 線：3064  
担 当：中尾

## 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の患者発生について

令和8年5月18日に粕屋保健福祉事務所管内の医療機関から重症熱性血小板減少症候群（以下「SFTS」という。）を疑う患者が発生し、県保健環境研究所で検査を実施したところ、本日SFTSの陽性が判明しましたのでお知らせします。

### 1 患者

(1) 年齢等

70代、男性、宗像市在住

(2) 経過

5月11日 発熱、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等出現

5月14日 症状改善しないため、A医療機関を受診

5月18日 下痢、食思低下、意識混濁あり、A医療機関を再受診

B医療機関を紹介受診し、入院

B医療機関から粕屋保健福祉事務所にSFTSを疑う患者を診察した旨の連絡

5月19日 県保健環境研究所にて遺伝子検査を実施し陽性判明

本人は引き続きB医療機関で治療中

(3) その他

マダニによる刺し口確認あり

### 2 行政対応

粕屋保健福祉事務所が患者・家族に対し健康調査、疫学調査を実施。

※ 県内のSFTSの発生状況

(令和8年5月19日現在)

年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
報告数	7	3	1	1	6	2
年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
報告数	1	5	2	4	5	1※

※本件を含む

### お 願 い

※ 報道機関各位におかれましては、患者及び患者家族等について、本人等が特定されないことがないよう、格段の御配慮をお願いします。

◆県民の皆様へ◆

- ・マダニに咬まれないようにすることが重要です。
- ・マダニは、主に森林や草地等の屋外に生息し、全国的に分布しています。  
家庭内に生息するダニとは種類が異なります。
- ・草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。
- ・マダニ類の多くは人や動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間（数日から長いもので10日間）吸血します。
- ・吸血中のマダニを見つけた場合は、医療機関（皮膚科）で処置しましょう。
- ・マダニに咬まれた後に、発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診しましょう。

疾患についての詳細はこちらから→

福岡県ホームページ「マダニによる人獣共通感染症に注意しましょう」



<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kansen2013021501.html>

# ⚠️ マダニにご注意ください ⚠️

春から秋にかけての季節は、マダニの活動が特に活発になります！

病原体を保有するマダニに刺されることで、人獣共通感染症である**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**、**ダニ媒介脳炎**、**日本紅斑熱**、**ライム病**などにかかることがあります。山や草むらでの野外活動の際は、下の4つを参考にして、マダニに刺されないようにしましょう。

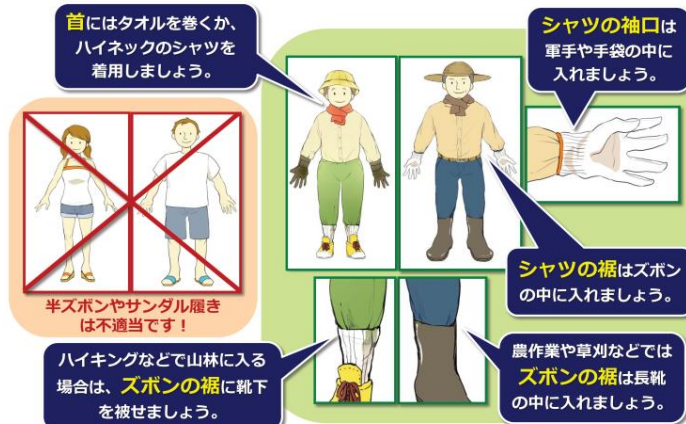
(これらの予防方法はツツガムシに刺されて感染するつつが虫病の予防にも有効です。)

## 1. マダニの生息場所



## 2. マダニから身を守る服装

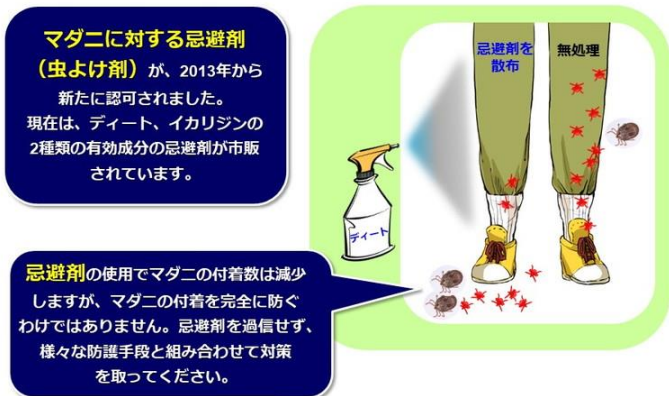
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！



## 3. マダニから身を守る方法



## 4. 忌避剤の効果



ダニに刺されたときは無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(ダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。

